

## 高浜再稼働反対20万人分超

# 署名提出で押し問答

## 市民団体 知事受け取り要請

高浜町の関西電力高浜原発3、4号機の再稼働に事実上ゴーサインが出た翌日の十三日、反対を訴える地元

の市民団体や賛同者が、再稼働を認めないよう求める二十万五千人分の署名を県庁に持ち込んだ。西川一誠知事の受け取りを求めたが、県側が拒んだため、押し問答となり、結局は署名を提出しなかった。

市民団体は「もう動かすな原発！福井県民署名実行委員会」。県内と大阪、京都府、滋賀、兵庫県の賛同者計八十人が参加した。事前の調整で、県は原発の担当幹部が対応することを伝えていた。市民団体側は了承しないまま、県庁を訪問。知事の受け取りを求めて県職員らと二時間半にわたって対立した。

最終的に担当者と面会し「未来の子どもたちが健康に暮らせるように、再稼働を認めないで」と口頭で要請。あくまで「知事の受け取りを求める」として、署名自体は提出しなかった。

知事が対応しない理由説明を求める質問状を市民団体側が提出しようと、知事室の入り口で抗議。「県民

の声が聞けないのか」などと声を荒らげて県職員や警備員に叫ぶ場面もあった。

実行委の共同代表である中嘉哲演さん(セコ)小浜市は「県民の意思を足蹴にする態度。県民の声を受け止めるべきだ」と憤った。

一方、県原子力安全対策課は取材に「(再稼働は)個人でなく、県として総合的に判断する事柄」と知事が受け取らなかった理由を説明した。署名の内訳は福井県民五万人分、県外十五万三千人分、海外千人分、昨年八月から今年一月に集めた。県側は混乱が起きないよう、あらかじめ職員十数人を県庁内に配置した。



署名提出をめぐる県職員と押し問答を繰り返す参加者。13日、県庁で